

平成 23 年 6 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 アルバック  
代 表 者 名 代表取締役社長 諏訪 秀則  
(コード番号:6728 東証一部)  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 本吉 光  
(TEL. 0467-89-2033 大代表)

## 韓国における研究所設立のお知らせ

当社は、韓国に当社として5番目となる研究所を設立することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 研究所設立の経緯

当社は、技術開発部(神奈川県茅ヶ崎市)、千葉超材料研究所(千葉県富里市)、筑波超材料研究所(茨城県つくば市)、半導体電子技術研究所(静岡県裾野市)の4拠点にて研究開発を行い、それら研究所からの委託により、韓国、台湾、中国の各国に設置されたリサーチセンターでの開発を積極的に推進してまいりました。

韓国における体制としましては、平成 12 年より、韓国アルバックにおいて国産化を開始し、順調に生産量を増やすだけでなく、韓国における国産化比率の向上をめざし、他の韓国の製造装置メーカーを凌ぐまでになりました。また、研究開発に関しましては、平成 18 年にアルバックリサーチセンターコアを設立し、最先端技術のサポートを行い、お客様との良好な関係を保ってまいりました。

そのようななか、近年、韓国における大手電機メーカー主導による、新規デバイスの商品化が進み、また、その開発スピードが速いだけでなく、韓国政府の政策で、素材部品及び製造装置の国産化が進行し、韓国の製造装置メーカーの台頭が著しくなっております。

そのため、当社は、長年培ってきた、韓国における体制をより強固にするために、日本の4拠点と同じレベルの研究所を韓国に設立し、韓国内の急激なビジネスの変化に対応することで、お客様との関係強化を図り、更なる拡販を行ってまいります。研究所は連結子会社である韓国アルバック株式会社の附属研究所の形として運営します。

#### 2. 名称

韓国超材料研究所  
(Korea Institute for Super Materials)

- 3. 所在地 大韓民国京畿道平澤市
- 4. 人員 20 名(予定)
- 5. 設立時期 平成 23 年 7 月 1 日(予定)
- 6. 研究所の主な開発内容

韓国におけるディスプレイ、有機 EL、太陽電池、薄膜リチウム電池、不揮発メモリなどエレクトロニクス製品の共同開発、サンプリング、量産技術の確立など。

以上

添付資料

## アルバックグループの開発体制

(現状の当社の研究開発拠点)



(7月1日以降の研究開発拠点)

